

平成 21 年度 第 1 回瀬戸市環境審議会議事録		
日 時	平成 21 年 7 月 24 日 (金) 午後 2 時 ~ 4 時 10 分	
場 所	瀬戸市役所 3 階 全員協議会室	
出席者	審議会委員	委員 15 名 (欠席 : 石川委員、高野委員、寺田委員)
	事務局	丹羽部長、加藤岩雄課長、高木主幹、加藤守幸環境保全係長、堀田、中村
次 第	内 容	
1 開会	開会の挨拶 欠席委員の確認	
2 諮問	瀬戸市長より環境審議会に対して諮問を行った。(諮問要旨の読み上げ、諮問書の交付)	
3 挨拶	各新委員の挨拶 (8 名) 会長挨拶	
4 議事	以下のとおり	
議事(1)	審議会に対する要望書について	
事務局	平成 21 年 7 月 21 日に当審議会に対する要望書が提出されている旨説明 今後の対応については、委員各自が審議においてこの要望書の内容を参考としてほしい。	
議事(2)	「(1)環境基本計画の位置づけ」及び「(2)策定体制とスケジュール」について	
事務局	資料の確認 環境基本計画の位置づけと基本的事項について説明 資料 「第 2 次瀬戸市環境基本計画の策定について」に基づいて、内容説明を行った。 策定体制とスケジュールについて説明 同じく、資料 「第 2 次瀬戸市環境基本計画の策定について」に基づいて、内容説明を行った。	
会 長	2 つについて説明を受けたが、ひとつずつ審議を行いたい。まず、環境基本計画の位置づけと基本的事項に対する質問・意見はないか。	
委 員	平成 18 年度から 19 年度にかけて、リーディングプロジェクトの見直しを審議してきた。その内容が、計画策定期間に入っていないのはなぜか。	
事務局	ここでは平成 21 年度から 22 年度にかけて第 2 次計画を策定する旨を示しているため、リーディングプロジェクトの見直しについては触れていない。	
会 長	計画の到達度の評価などは、当然、見直し後の計画をもとに行うことでよいか。	
事務局	そのように行います。	
会 長	次に、策定体制とスケジュールに対する質問・意見はないか。	
委 員	市民等の参画の内容が今までと同じととれる。前にも地域討論会をやってほしいとの要望も出したが、今までと同じようでは、市民に浸透していかない。計画がある程度かたまった時点で、シンポジウムのようなものを実施してほしい。	
事務局	スケジュールでいうと「市民・事業者からの意見収集」のところで実施することとなるが、どのような形で実施するかについては、今後検討していく。	

委員	事業者アンケートにおいて、「市内の主な事業者 200 社を対象」とあるが、「主な」の意味はなにか。
事務局	事業者については、市の産業構造にあわせて抽出する予定であり、無作為ではない。そのため、「主な」と表現した。
委員	事業者の定義はなにか。産業をやっている民間企業ということであれば、教育機関などはもれてしまうのではないか。
事務局	事業者とは、市内で事業活動を行っている者をさしており、公害等の発生源となっている企業や今後、環境問題に対して積極的に取り組んでいこうとしている企業を対象としたい。教育機関については、学識者ヒアリングでも対応できると考えるが、教育機関へのアンケートの実施についても今後検討する。
委員	基本計画について「素案」と「原案」という言葉がでてくるが、その違いはなにか。
事務局	文言が整理しきれしていない部分があり、今後統一していきたい。2ヶ年のうち先ず策定の基本方針を定めて、年度内に生煮えの素案をかため、市民・事業者の意見収集を経て22年度に素案をつくりたい。
委員	市民ヒアリングのなかに、環境パートナーシップ会議などの組織に対してヒアリングを行うとあるが、パートナーシップは事業者の組織ではないのか。市民の様々な団体からの意見が聞けなくなるのではないか。
事務局	今後、市民の環境パートナーシップ組織を立ち上げる予定であり、そこにヒアリングを行う予定である。
委員	市民は、環境基本計画及び条例、審議会について知らない状況にある。市民に知ってもらうためにはどうしたらよいかを考える必要がある。
事務局	パブリックコメントを実施する予定であり、パブリックコメントは市民に対する環境基本計画の啓発も兼ねている。
議事(3)	「(3)アンケート等の実施」について
事務局	資料 - 1「アンケート実施要領(案)」及び資料 - 2「市民アンケート調査票」、資料 - 3「事業者アンケート調査票」に基づいて、内容説明を行った。 アンケートについては、8月に実施する予定であるので、調査票の内容については本日ある程度確定したいと考えているので審議をお願いしたい。
会長	では、先ず、市民アンケート調査票に対して質問・意見はないか。
委員	対象が16歳以上となっているが、高校生のレベルがどのくらいかわからないが、高校生にも分かる内容にしてほしい。きれいな言葉で書いてあるが、分かってもらえるか疑問である。もう少し具体的に分かりやすくしてほしい。問5の「瀬戸の文化がかおるまち」とは具体的に何か分からない。また、高齢者にも分かりやすいように文字の大きさなどにも注意してほしい。
事務局	表現については分かりやすいものに修正する。また文字の大きさ等についても注意する。
委員	瀬戸市は、地区によって雰囲気は違っている。無作為抽出とした場合、地区にかたよりがでないか。
事務局	抽出の際に地区の人口比率等を考慮することも考えられるが、回答率によってもかたよりが出ること考えられるため、無作為とし、回収の結果をみて分析方法を考える。
委員	問2の「生物の多様性」とはなにか。

事務局	生物種とそれを取り巻く環境の多様性のことを示すが、分かりにくいいため表現を修正する。
委員	問6に「山口川」を入れた理由はなにか。地区の人でないと分からないのではないか。
事務局	市内には4つの河川があり、この4つについては環境のシンボルとして入れておきたい。
委員	郵送による回答となっているが、興味のある人はアンケートに回答するが興味のない人は回答しない。特に若い人の回答率が低くなり、年齢にかたよりがでないか。
事務局	アンケートの内容については分かりやすいように配慮したつもりである。一般的には50%前後の回答率があると考えている。回答率等の結果については報告する。また、実際に環境問題等に取組んでいる人々には、別にアンケートを実施する。
委員	属性のところに、「環境基本計画、環境基本条例を知っていますか」という設問を設けてはどうか。
事務局	環境基本計画の啓発にもつながるので、是非設問を追加したい。
委員	無記名であるが、アンケートに答えた方はその結果について知る権利がある。公開されるのか。
事務局	ホームページ等で公開していく。
会長	公開するのであれば、冒頭のお願い文の中に、ホームページ等で公表する旨を記述するように。
委員	問6では、知らないものに×をつけることになっているが、×がいくつあるのが気にしないのか。
事務局	実態を把握することが目的なので気にしない。
会長	次に、事業者アンケート調査票に対して質問・意見はないか。
会長	事業者は無記名か。
事務局	無記名であるが回答が返ってきた事業者が分かるようにしたい。
会長	ナンバリングは問題がある。記名式としてはどうか。記名か無記名かどちらかはっきりすべきである。
事務局	検討する。
委員	環境問題への取組みがビジネスチャンスになるかを聞いてみたい。取組みを積極的に行っていることを市民に知ってもらいたいのか、そういう場所がほしいのかどうかを聞いてみたい。問2などに、もっと自由に意見を書ける部分をつくってほしい。今後の計画策定のアイデア出しに使えるかもしれない。
会長	事業者が市民との協働をどう考えているのか、それを評価される仕組みが必要と考えているのか、という項目の追加を検討してほしい。
事務局	問4、問5の自由意見記述の部分で意見が聞けるように、分かりやすいように修正する。
委員	問2は生活環境、自然環境、都市・快適環境、広域・地球環境のジャンルに分けて記述してはどうか。
副会長	ジャンルを分けるとともに、設問の内容のレベルを統一した方が良いのではないか。
事務局	その方向で検討する。

会 長	問2にごみ・廃棄物とあるが、これは一般廃棄物のことなのか、産業廃棄物のことなのか。
会 長	問4の「瀬戸市に求めるものは何か」とあるが、これは瀬戸市が事業者に求めることなのか、広く市内において市民も含めて取り組むべき対策についてきいているのか。広く全般にということのように思えるが、そうだとすれば、企業に対してどのような支援が必要なのかという選択肢が良いのではないか。
会 長	アンケートについては、一字一句をこの場で決めることは難しいので、各自持ち帰って、来週の月曜日中に事務局へと指摘し、それをもとに最終版を作成するように。
議事(4)	「(4)環境基本計画の構成」について
事務局	環境基本計画の構成について説明 資料 「第2次瀬戸市環境基本計画の策定について」に基づいて、内容説明を行った。
委 員	計画の視点の において、条例では「人と自然との関わり」とあるが、視点では自然が抜けている。自然を入れてほしい。
事務局	自然を入れるように修正する。
委 員	同じく視点の「瀬戸の特性」とは何か。
事務局	この視点は、第1次計画に記述してあるものである。瀬戸の特性とは緑と焼き物である。視点に記述してあるものはフレーズ的に書いてあるが、表現については修正する。
会 長	視点については、条例の内容を踏まえた表現にすること。
会 長	その他、全体をとおして何かあるか。
委 員	瀬戸市の貴重な植物の保護については、市としてどのようにしていく考えか。
事務局	植物の分布域の確認など、基礎的なデータを持っている。今後、植物等の保護については、この計画の中で具体的に検討していく。
議事(5)	その他
会 長	次回の審議会の予定はどうなっているか。
事務局	10月の下旬を予定しているが、多くの委員に参加してもらえるように日程を調整したい。
5 閉会	閉会の挨拶